



さいみん
催眠コスプレ広場

著作 黒雛
出版 TMEプラス

〈フルエディション〉



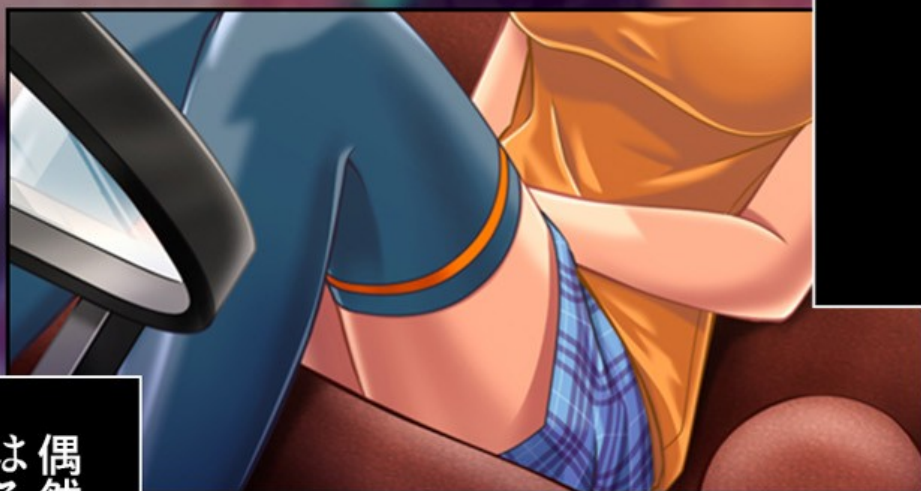
3年前のとある
コスプレイベントで
俺は「はるな」と
知り合った

コスプレカメラマン
である俺にとって
はるなは光る原石だった
そして一目惚れをした

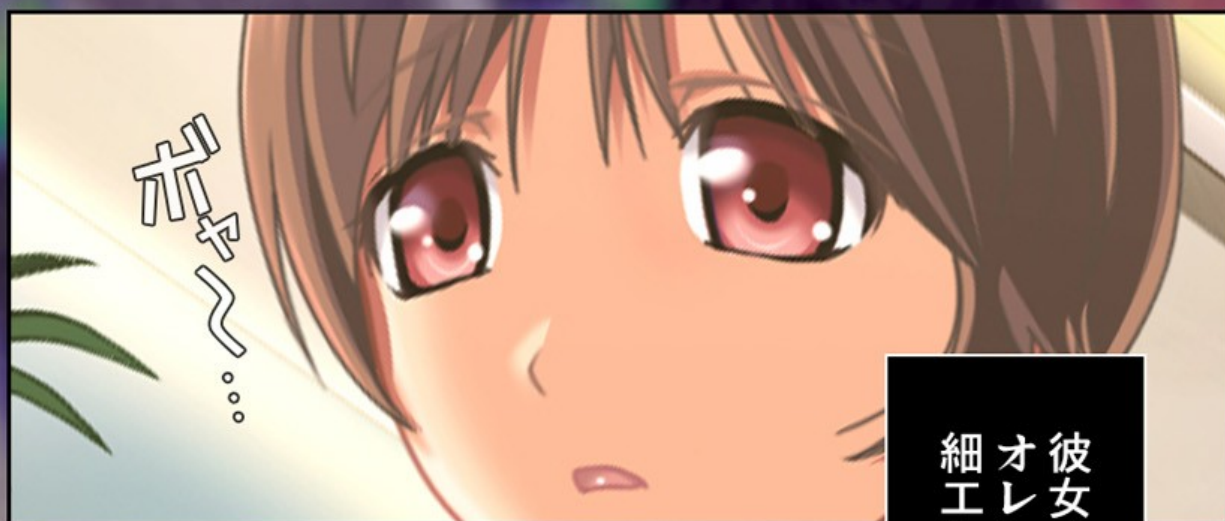
ある日彼女に想いを
伝えた手紙を渡すが
その手紙が封を
破られた形跡もなく
ゴミ箱に捨てられて
いた

それを目撃した瞬間
はるなへの俺の想いは
復讐心へと変わっていった

怪しい通販で購入した
「催眠洗脳キット」
これをはるなに使うと
決めた



偶然を装い
はるなをお茶に
誘うことに成功



彼女の飲んでいる
オレンジジュースに
細工を完了

今日から彼女を
少しずつ調教して
いこう...

アデヤカ・コスチューム・パーティー

カ
シ
ャ
ッ

カ
シ
ャ
ッ

はるなの周りに
カメラマンが集まり
連鎖反应的にギャラリー
が集まる
シャッター音と
フラッシュがはるなの
気分を高揚させる…

ん？

あれ…貧血かな
暑さのせい？

カ
シ
ャ
ッ



どうしよう…

はあ

はあ

だんだん気持ち
よくなってきた



はあ…んっ

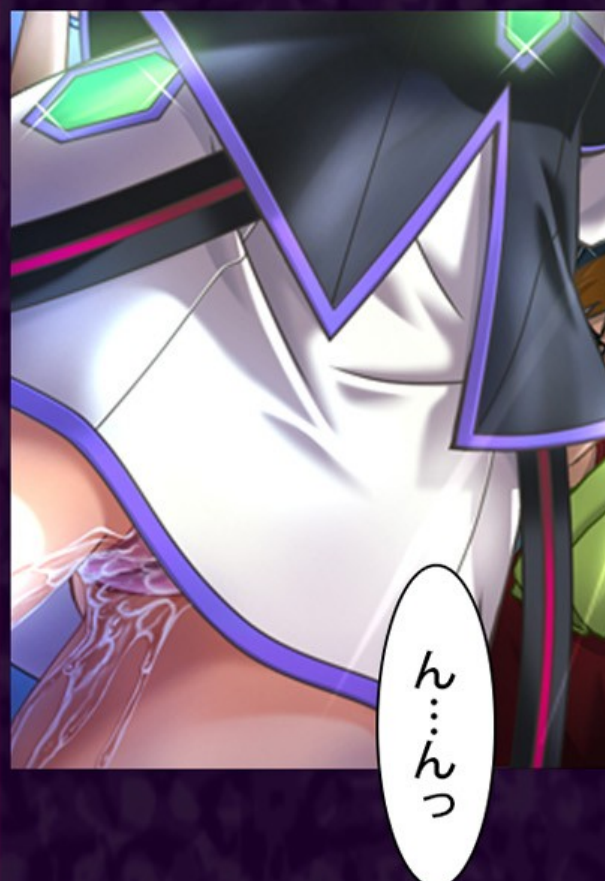
はっ

またっ

またっ

カチュン
カチュン

突如はるなの耳に人々の
欲望の音が響く
不意に男を誑かしたい
という悪意が芽生える
耳に響く声はエスカレート
していき自分の体でない
ような感覚を覚える
はるな



ん…んっ



あ...

あはっ...あ...

はあ...はあ...

んはあっ...

んっ

スチキッ

クチュッ

スチキッ

クチュッ

はあ

はあ

はあ

はあ



我に返るはるな
たっぷり妄想を
していたようだ



洗脳の第一段階は上々である...

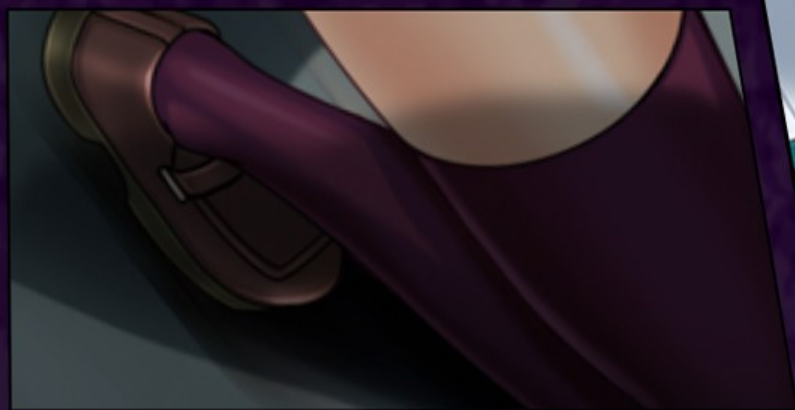
ワンダー・パーティー

今日のはるなのコスプレは『ギガンデス・ロード』のパイロット『マリナ・マキ』役になりきりながら午前中は物販の手伝い

そして午後はコスプレイベントの撮影また多くの観衆の視線を浴びることになる…



セリフやポーズ：
男達のはるなに次々と
リクエストをする
まるで命令するかの
ように…



あれ おかしいな
また気持ちよくなって
きちゃった…

ポヤ〜…

笑顔で要望に応え続けて
いくうちに
はるなは興奮して
気絶をしそうな感覚に陥る

あれ…さっきまで
撮影会をしていた
はずだけど…ココは？

なぜだろう
この男には逆らえない
男のモノを手にする
思ったより嫌悪感
はなかった…

さあ！
しゃぶるんだ

グ
ッ

美味しい…
美味しいですう…

ん…ふ…

しゃぶ
しゃぶ

そうだ
上手いじゃないか

んぐっ…ふっ

しゃぶ
しゃぶ

ん…んっ…

ふ…ぐっ…

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んふっ…

男根を舐めている
うちに
愛おしい気持ち
が湧き上がってきた

出し入れしながら
舌先で亀頭の部分を
軽く刺激する

…んぐっ

ぽろぽろ

だら

はるな
キミは男が好きなんだ
その証拠にしゃぶりながら
濡れているだろ？

男の熱いほとばしりを
顔面に受けた

きゃんっん…っ

ド
ド
ド

ア
ビ
ュ
ル
ッ

男の言う通りに
胸をばだけ
お尻を突き出す私…

男の指示に従い
物陰に連れて
いかれる私…

はあ

はあ

い…挿れて…
ください…

すげー！

ズキョ

ズキョ

はうっ

あん！

ビョッ

ズキョ

もっと
物足りないです

男はモノを挿れるとゆっくり
腰を動かし始めた
尿意にも似た抑えきれない
快感が湧き上がった



気持ちイイイ!

あぁっ...

あっ

頭の中が真っ白になり
そして徐々に暗くなって
いく



妄想から我に戻る
はるな...



ボヤッ...

第二段階成功

次は妄想だけでは
済まされない!

今日は
真夏の最大イベント
『コミフェス』一日目

はるなが断れない
ことを良いことに
会場まで一緒に
バスで向かう事
にした



はるなは自分自身が
どう思っているも
俺に逆らうような
行動が出来ない



イヤ……!
恥ずかしい……

前のおじさんに
気付かれるほどに
俺は力強くはるなの胸を
揉みしだく

わた…し…
見られると感じる
イヤらしい女
なんです

はるなは俺のいいなりになる事で快感すら感じるようになっている

あ…

ん…

洗脳は
成功に近づいている…

んぎゅんぎゅ

ズザ
ザザ

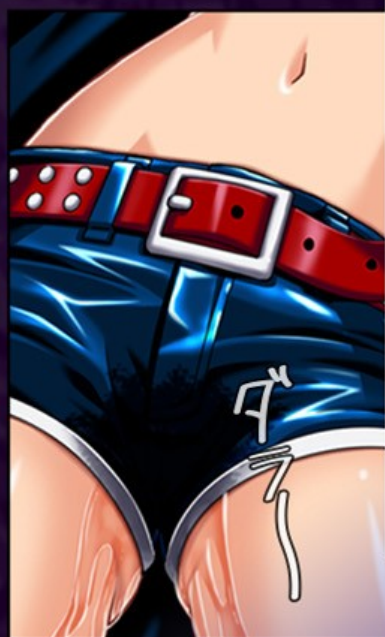
はあ
はあ



「コミック
フェスティバル」
会場に到着



股間にうっすら浮かぶ液体に
周囲のカメラマンが
気付き出す



わ…私
見られると
感じるんです

興奮した男達は
露骨に股間に焦点を
合わせる





周囲の客に
気付かれるなよ



膣内を掻き回し
わざと音を立ててみる

はあ...はあ

ううっ！



指だけじゃ
物足りないだろう？

調教もいよいよ
最終段階へ進んできた

その日の夜
イベント会場で
洗脳の進捗を確かめる
実験を行った

あの…
おトイレに…

ううオシッコ
し…したいですう
…ああ!

はるなの放尿に
興奮した俺は前戯もなく
はるなの膣内に挿入した

あああっ!

コミフェスも
ついに最終日

脱水症を気遣うように
俺は媚薬入りの
オレンジジュースを
手渡す

今日はただチラシを
配るだけなのかしら？

気付いたか？
キミはチラシを
配りながら感じて
絶頂に達したんだ

い…挿れて欲しいです
お…お願いします

気が付くとはるなは
会場の片隅で倒れ込んでいた
周囲には沢山の
カメラマンがいる

え…？

はあ
はあ
はあ

ぽろっ



はあっ...!

あ...

よし
ご褒美だっ!

すっかり調教された
はるなを連れ
夜のイベント会場へ

調教は完璧に
成功されたようだ

ん...はるな

チンポ
大好きです



調教されたはるなは
実に淫らだった
自分から股を広げ
積極的に俺に求めて来る

はあ…

中に…
中に出してえええ！

ご主人さまあ
はるなの汚いおマンコに
ご主人様のチンポを
挿れてくらはいい

もはや催眠洗脳キットの
出番もないほどに
はるなは自然と俺を求める
ようになったのであった

ああ

あ

ク
パ
ア
…

セ
セ
セ



あれから1年

すっかり俺好みに
調教されたはるな…



今では毎晩違うコスプレをし
俺を楽しませてくれる
恋人になったのだった……

END.





e-ColorComic

【カラーコミック】
催眠コスプレ広場
〈フルエディション〉

発行所 TMEプラス

© 黒雛